

**私**は日本女子大学理学部数物科学科に所属しております、  
1年の渡邊侑希と申します。



私は現在、宇宙開発フォーラム実行委員会という学生団体に所属しています。当団体は、私達の先輩が「日本の宇宙開発には社会科学的な視点が不足している」という観点から、社会科学的な視点で宇宙開発を見る機会を学生に提供しようと、4年前につくられたものです。“社会科学的視点”という言葉から察することができるかと思いますが、当団体は、文系理系の学生が両方います。「宇宙は誰のものでもない」というように、宇宙開発は理系のものではないという文系から見た宇宙の視点と理系から見た宇宙の視点を合わせて、宇宙開発を見ていくという、まさに文理融合をコンセプトにして、活動しているからです。

この宇宙開発フォーラム実行委員会に所属することによって、文系理系関係なく色々な方のお話を聞く機会や、色々なイベントに行く機会が増え、大学に入ってから今まで、とても充実した日々を過ごしています。また現在、文部科学省女子中高生・理系進路選択支援事業の秋田大学企画の“ロケットガール養成講座”という企画のお手伝いとして、参加させていただいております。この企画は簡単に説明をさせていただきますと、秋田周辺在住の女子高校生と一緒にカンサット搭載のハイブリッドロケットを製作し、秋田県の能代で打ち上げを行うというものです。この企画によって、女子高校生にロケット・カンサット製作の面白さを知ってもらい、人数の少ない女性の理系を増やそうという考えなのだとは私は解釈しております。

私も昔は自分が文系に進むものだとばかり思っていました。理系科目よりも文系科目の方が得意でしたので。しかしながら、あるきっかけがもとで、理系を志すようになりました。

そのきっかけというのは、高校1年生の時の物理との出会いです。高校生になって初めて、中学まで習ってきた“理科”というものが細分化されて“物理”“生物”“化学”“地学”になり、その物理の最初の授業で‘ $ma=F$ ’の式を習い、 $m$ が質量、 $a$ が加速度、 $F$ が力であると教えられました。そのときに、ふと、「質量ってなんだろう。」と思ったのです。質量は、ものの重さだと教えられましたが、そうすると体重計で計ったものの重さというのは質量とはいえないなと思いました。質量にはばねが入っていて、そのばねの力で重さを表しているはずです。それでは体重計で計った重さというのは“力”なのではないでしょうか。それならば一体質量とはなんな

んだらう。と思いました。そのものが持っているエネルギーであるとか、色々と考えました。それを物理の先生に聞いたところ、「それは難しい質問だな。」と一緒に質量の定義から考えてくださいました。それが私にとってはとても嬉しいことで、感動しました。私は昔から「なぜ、どうして」と思うことが多く、大部分の人にその理由を聞くと「それは当たり前だから」だと言われてきました。



▲スペーススクエアサミット2006  
(西はりま天文台)にて

なぜ「当たり前」なのかを知りたいのに、どうしてみんなが普通の顔をして「当たり前」と言えるのかが、とても不思議でなりません。だからこそ、当時のその先生の対応は私にとってこの上なく嬉しいことだったのです。そういったことを考えていく内に、“物理”というものが「現象の理由を説明するもの」だと私は思うようになりました。同時に、一生物理を勉強していきたい、物理に関わっていきたいと強く思いました。

宇宙へ思いをはせるようになったのも、この「なぜ、どうして」と思う好奇心が原因です。「宇宙はどこまで広がっているのだろうか」や、「宇宙には私達以外に生物がいるのだろうか」など、宇宙には謎が多く存在します。宇宙は、私のことをワクワクさせたり、もっと知りたいと思わせてくれる素晴らしい存在です。私はこの宇宙をずっと追いかけていきたいです。

特に、地球外生命体の存在についてはとても興味があります。彼らを探すために今使われているのは電波です。衛星通信などに電波は多用されていて、目に見えないにしても、私達の生活に密接に関わっています。そのような身近なものが、宇宙にまで届くということは凄い事です！宇宙は宇宙でも、こんなにワクワクさせてくれるものは今の所はありません。将来は電波を用いた研究に従事していきたいと考えています。SETIの研究がしたいです。

しかしながら、これからもっと色々なものを見聞きしていくうちに、また考えは変わっていくかもしれません。でも今は、自分のやりたい方面に向かって突き進むのみだと考えております。大学生活、遊んで過ごすことも可能ですが、私は自分の夢に向かって最大限時間を割いていきたいと考えております。もちろん、学校の勉強が最優先ですが…。

最後になりますが、私は宇宙開発フォーラムという団体に出会えたことで、大学に入ってから今まで、色々な方とお話をする機会に恵まれ、色々な人の考え方に触れることができています。当団体には本当に感謝しております。これからも宇宙開発フォーラムを通して、色々なイベントに参加したり、もっと主体的に行動したりしていきたいと考えております。そして一生、考えることをやめたくはありません。生きるということは考え続けることなのだと思いません。

ありがとうございました。 ■